

2024年度 第1回

緩和ケア事例検討会

(仮題) 在宅移行支援にかかせない
コミュニケーションの要点
—多職種間の相互理解を深めるために—

9.21 SAT.

13:00—16:30

講師プロフィール

広島県公立大学法人 県立広島大学
保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース

准教授 **大下 由美 先生** Oshita Yumi PhD in Human Health Science and Welfare

山口県立大学で博士（健康福祉学）を取得後、2004年から県立広島大学保健福祉学部講師、2007年から現職。臨床心理学・社会福祉学の専門家として、地域、家族内等で生じる様々な解決困難な問題を、日常のコミュニケーション過程を活用して短期に解決していく包括的支援論について、理論的、技術的、そして臨床での効果測定の研究の第一線で活躍。主な著書は「Minimalist Social Workが描き出す次の世界像」、「コミュニティ臨床論：ケア実践と課題解決ネットワークの生成」など。社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士、公認心理師、保育士、介護福祉士。（県立広島大学のウェブサイトより抜粋、改変）

会場

市立三次中央病院
健診センター 2階 講堂

三次市東酒屋町10531番地

申込方法

お名前（ふりがな）、ご職業、ご所属をご記入のうえ、
9月19日（木）17時迄にメールでお申し込みください。

メール受信を制限されている方は、city.miyoshi.hiroshima.jp
のドメインから送信されるメールを受信できるように設定
してください。

kanwacc@city.miyoshi.hiroshima.jp

講座内容

自分の考えが、相手にうまく伝わらない——コミュニ
ケーションで困った経験、ありませんか？

在宅医療を支えるためには、病院や診療所のスタッフ、
在宅を支えるスタッフ、患者と家族、三者間の相互理解
が欠かせません。今回は、県立広島大学の大下由美先生
をお招きし、それぞれの思いが交錯した事例を通して、
コミュニケーションの要点を解説していただきます。

定員

40名

市立三次中央病院 緩和ケアセンター

TEL : 0824-65-0101（代）

〒728-8502 三次市東酒屋町10531番地

FAX : 0824-65-0159

mail : kanwacc@city.miyoshi.hiroshima.jp

※ 取得した個人情報は、当研修会に関する連絡、当研修会の企画運営、および統計処理のために利用します。
ご本人様の同意なく第三者に情報を提供することは、一切ございません。